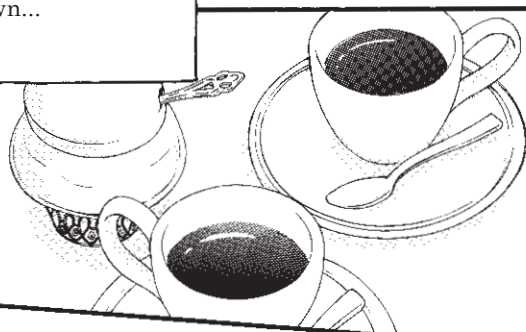


Episode 5

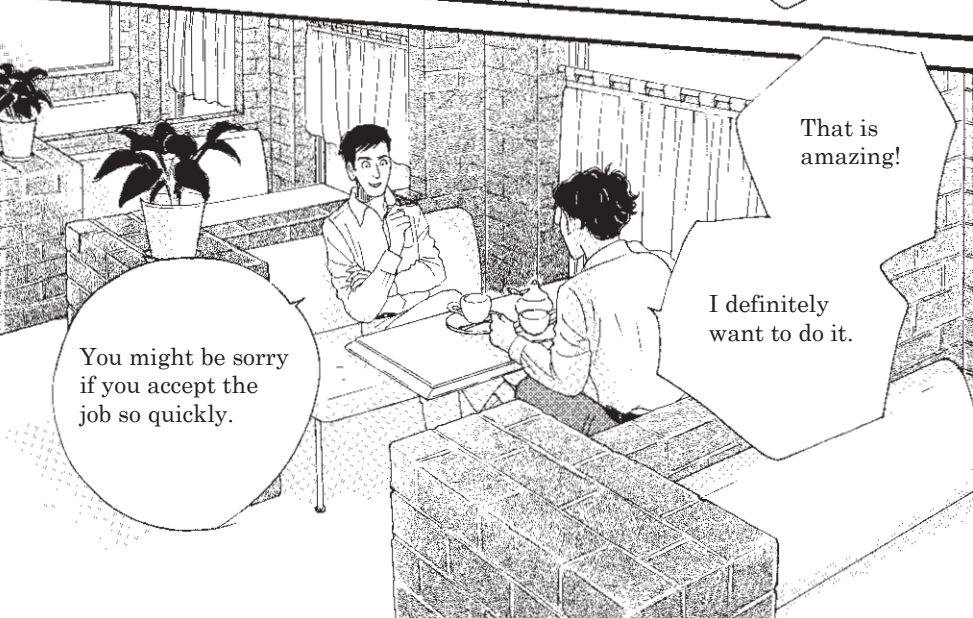
When the totally unprecedented performance by The Tokyo Ballet School was over and things settled down...

1961 was a year of important encounters for Tadatsugu.



What!!

The Opéra National de Paris is performing Carmen on its first visit to Japan!?



You might be sorry if you accept the job so quickly.

That is amazing!

I definitely want to do it.



We have to  
make all of the  
costumes and  
stage sets in  
Japan based on  
their designs.

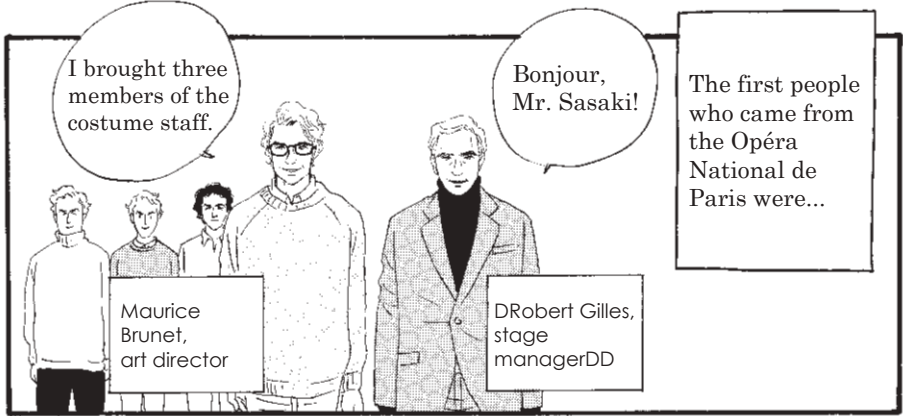
It's just the  
performers that  
are coming.

## Episode 5

But that could be a  
great chance to learn  
authentic  
techniques!



At the time,  
Tadatsugu had  
been doing stage  
work for six years.




I brought three members of the costume staff.

Bonjour, Mr. Sasaki!

The first people who came from the Opéra National de Paris were...

Maurice Brunet, art director

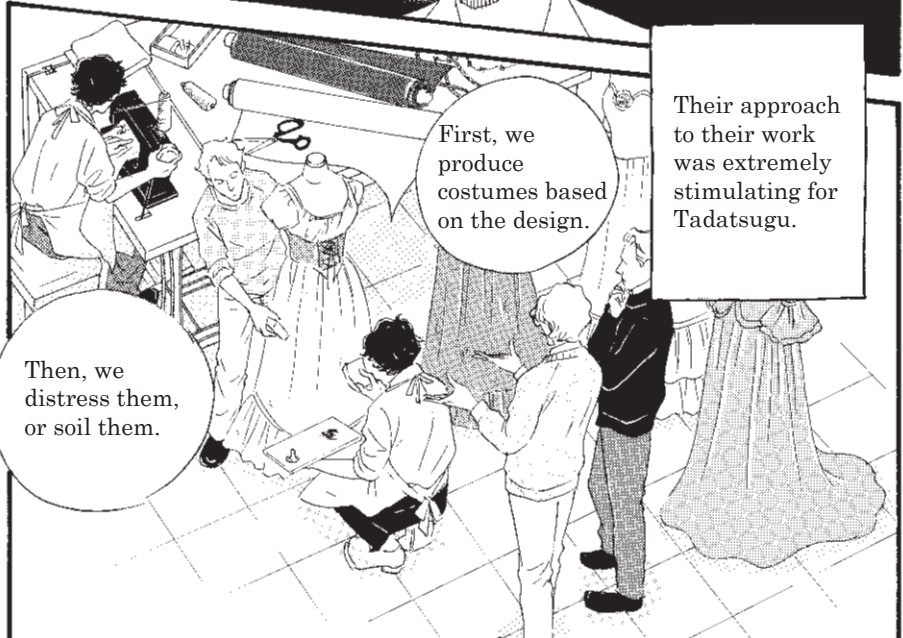
DRobert Gilles, stage managerDD



Thank you for coming!

Buh... buh...

Bonjour.



First, we produce costumes based on the design.

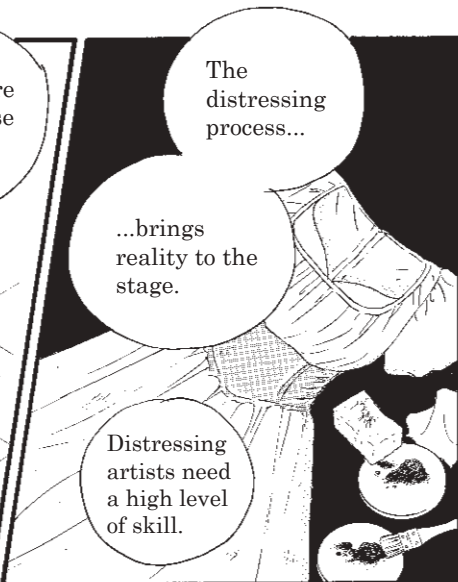
Their approach to their work was extremely stimulating for Tadatsugu.

Then, we distress them, or soil them.



And...is there anything else you need?

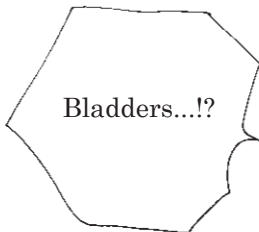
Ah, yes. Please get some pig bladders.



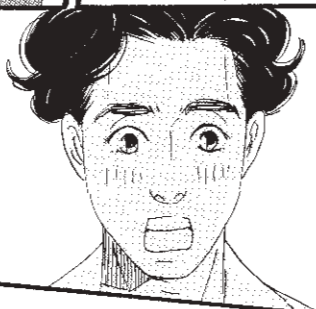
The distressing process...

...brings reality to the stage.

Distressing artists need a high level of skill.



Bladders...!?



Pig!?



Thank you very much!  
They will be very helpful!

Meat processing plant in Tokyo





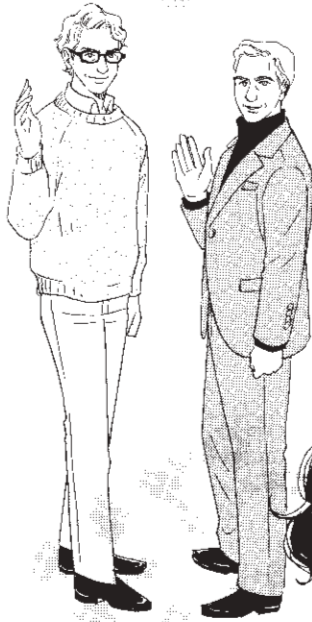
一度  
パリにも  
遊びにおいで

待っているよ！

はい！！

このふたりとの  
交友は

その後も  
長く続いていく





翌1962年  
(昭和37年)  
6月

東京バレエ工学校  
第2回公演『まりも』は  
評判を呼んだ



主人公セトナは  
許婚いざなひのいる  
若者マニベを  
愛してしまうが

それは湖の神の前で  
誓った婚約だった

アイヌの民話を  
もとにつくられた  
悲恋の物語



湖の神はふたりに  
3つの試練を  
与え



あー  
素晴らし  
かったなあ…

ラストは  
まさに永遠の  
愛の結実…

最後は愛が実り  
ふたりは湖のまりもに  
姿を変える――

舞台は  
素晴らし  
かったけど

現実  
は  
厳しい  
って  
噂だ

へ？



東京バレエ学校は  
早くも経営危機  
だつて言うぜ

え!?

舞台の経費なんか  
たくさん出るから  
資金は潤沢に  
あると…



学校長に  
経営能力が  
ないんだよ

…

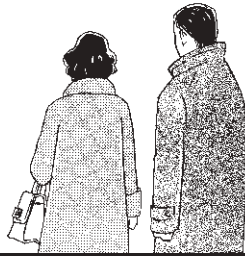
レッススが激しい  
とはいえ  
すべての生徒に  
トゥシューズを  
週に2足支給

ソ連から来た  
教師の待遇も  
すごいぞ  
移動はすべて  
ハイヤーだ

いくらあっても  
資金は  
足りないさ

「まりも」の  
公演終了後  
ソ連の教師は  
契約どおり帰国

そのあと1年近く  
ソ連から新しい  
教師が派遣されず  
去る生徒も  
多かつた



そして…

第3回  
東京バレエ学校 舞台発表  
白鳥の湖

ツグさん  
これ引き受け  
たの!?

うん

そんな  
バカな!

『まりも』の  
ときのギャラ  
もらって  
ないのに!?

乗りかかった  
船さ…  
やるっきゃ  
ないよ

『白鳥の湖』は  
チャイコフスキーの  
3大バレエのひとつ

悪魔ロットバルトの  
魔法によって  
白鳥の姿に変えられた  
オデットと  
王子ジークフリートとの  
真実の愛をめぐる物語



1877年の初演以来  
140年たった今も  
世界中で上演され  
続けている名作だ

永遠の愛を誓った  
ふたりに悪魔から  
送り込まれたのは  
美しい刺客 オデール

王子はオデールの  
美しさに惑わされ  
オデットを  
裏切ってしまう…



演出家によって  
さまざまな版があり

音楽の使い方や  
物語のエピローグも  
それぞれ違いがある



面白い  
よねえ…

湖で愛を誓う悲恋  
ついでいうところは  
『まりも』に共通する  
ものがあるよね


そんな  
のんきな…

今回もギャラ  
出ないかも  
しれないか  
じゃないか


忠次は人脈を  
駆使して  
発表会に合わせた  
「バレエコンサート」  
を企画

『白鳥の湖』は  
\* レニングラード  
国立バレエ団を  
客演に招き  
4カ所のホールで  
14公演行った

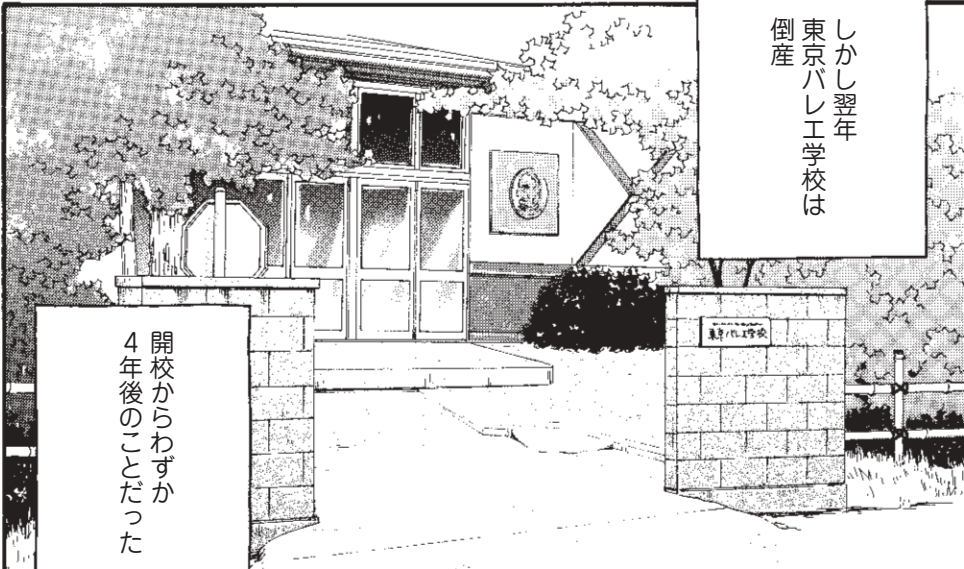




素晴らしい  
舞台は  
観客の心に  
届く



巨大な負債が  
財産に変わる日が  
きつと来る——!!



しかし翌年  
東京ハレ工学校は  
倒産

開校からわずか  
4年後のことだった